

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		平成24年7月25日					
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府京田辺市興戸大伏1番地1		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 京田辺市上下水道部 京田辺市水道事業管理者 職務代理者 上下水道部長 安岡 隆司					
主たる業種	上水事業				細分類番号	3 6 1 1	
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	平成20~22年度を基準に平成23~25年度の温室効果ガス排出量を3年間の年平均で3%削減する。						
計画を推進するための体制	京田辺市長を本部長とする京田辺市地球温暖化対策実行計画推進本部において、平成20~22年度を基準年度とする新たな削減計画の進捗管理を実施する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	1,989.8 トン	1,965.9 トン	トン	トン	-1.2 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	1,968.0 トン	1,965.9 トン	トン	トン	-0.1 パーセント	
実績に対する自己評価		排出量が目標に到達していないので、今後、一層の削減努力を行う。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	浄水施設	事業活動に伴う排出の量 (配水量×1/10)	2.58	2.53			-1.94 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
実績に対する自己評価		排出量が目標に到達していないので、今後、一層の削減努力を行う。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		76.0 セン	76.0 セン	セン	セン		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	新浄水場のろ過池洗浄頻度を変更及び水道事務所他各施設の機器の適正な運転管理に努める。					
	(24)年度						
	(25)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	職員駐車場有料化により自動車通勤は減少しており、引き続き公共交通機関や自転車利用による通勤の啓発に努める。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	自動車使用通勤者総数の抑制					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	府内産の木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合 計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	上下水道部事務所において緑のカーテンの栽培を実施している。						
特記事項							

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。